

# 倫理審査委員会

【27年度－第2回】

■ 日 時：平成 27 年 5 月 27 日（水）18:00 ～

■ 場 所：2階 応接室

■ 委 員：

◎川向副院長《委員長》	◎佐藤副院長《副委員長》	◎佐々木事務局長
◎内藤診療部長	◎奈良崎医長	◎小笹主任医長
◎松本医長	◎佐々木薬剤科長	◎玉井主幹
◎石澤外部招聘委員	◎貫田事務局次長	◎藤田経営企画課長（委員会事務局）

◎印：出席者

## 1 議 題

### （1） 審議事項

#### ① 【 説明と同意書制定 － 新規 】

「121 MRI 検査に際しての鎮静薬使用に関する説明と同意書」  
の制定について

＜申出者：診療部長（小児科担当） 内藤 広行＞

#### 〔審議結果〕 修正の上で承認

MRI 検査に際しての鎮静薬使用について、患者の理解がより一層深まるよう明確に説明しており、倫理的・科学的な観点から妥当であると認められるので、当院の「説明と同意書」として定め、これを使用することを承認する。

ただし、承認にあたり、別紙のとおり内容の一部を修正する。

## (2) 審査事項

### ② 【 臨床研究 － 新規 】

「外来化学療法を受ける患者の問診を担当する看護師の意識調査から見えてくる現状と課題」の実施の可否について

<申出者：第一外来看護科 看護師 老久保 恵>

#### 【審査結果】 修正の上で承認

当院で本研究を実施することの可否について、研究計画書等の資料に基づき審査を行った結果、研究の目的、対象者、実施方法、倫理的な配慮に関する事項等について、いずれも倫理的・科学的な観点から妥当であると判定し、これを承認する。

ただし、承認にあたり、別紙のとおり内容の一部を修正する。

### ③ 【 臨床研究 － 新規 】

「救急搬入された患者の入院までの待機時間と背景」の実施の可否について

<申出者：救急外来看護科 看護師 原田 さおり>

#### 【審査結果】 承認

当院で本研究を実施することの可否について、研究計画書等の資料に基づき審査を行った結果、研究の目的、対象者、実施方法、倫理的な配慮に関する事項等について、いずれも倫理的・科学的な観点から妥当であると判定し、これを承認する。

### ④ 【 臨床研究 － 新規 】

「終末期がん患者への看護援助についての一考察 ～積極的治療から症状緩和へ移行した終末期がん患者の家族の心理体験より学ぶ～」の実施の可否について

<申出者：3階西病棟看護科 看護師 野中 志津枝>

#### 【審査結果】 承認 → 取り下げ

倫理審査委員会の開催後、申請者より本臨床研究の実施を取り止める旨の申出があったため、申請を取り下げることとする。

取下理由 選定する対象者数が少なく基礎データの集積不足により、分析精度が低いと考えられるため、本研究の必要性や研究方法等について再検討する。

⑤ 【 臨床研究 － 新規 】

「自宅での内服自己管理実態調査 ～残薬がある要因を探る～」  
の実施の可否について

＜申出者：4階西病棟看護科 看護師 森 直美＞  
※当日説明者 4階西病棟看護科 看護師 若山菜摘

【審査結果】 修正の上で承認

当院で本研究を実施することの可否について、研究計画書等の資料に基づき審査を行った結果、研究の目的、対象者、実施方法、倫理的な配慮に関する事項等について、いずれも倫理的・科学的な観点から妥当であると判定し、これを承認する。

ただし、承認にあたり、別紙のとおり内容の一部を修正する。

⑥ 【 臨床研究 － 新規 】

「胃バリウム検査後の下剤の効果が発現するまでの水分摂取量と初回排便時間の調査」の実施の可否について

＜申出者：健診センター 看護師 矢口 由香里＞

【審査結果】 修正の上で承認

当院で本研究を実施することの可否について、研究計画書等の資料に基づき審査を行った結果、研究の目的、対象者、実施方法、倫理的な配慮に関する事項等について、いずれも倫理的・科学的な観点から妥当であると判定し、これを承認する。

ただし、承認にあたり、別紙のとおり内容の一部を修正する。

## 2 その他

・次回の委員会開催は6月23日（火）を予定しているが、後日、あらためて日程をお知らせする。